

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社

コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 恒嗣

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 小西 国温

TEL 03-5687-5201

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,025	1.5	569	63.0	659	62.5	390	132.0
24年3月期第2四半期	15,784	5.2	349	△44.1	405	△42.5	168	△54.5

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 375百万円(62.0%) 24年3月期第2四半期 231百万円(△43.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	11	19	—	—
24年3月期第2四半期	4	82	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	28,258	28.0	9,466	28.0	—	—
24年3月期	30,428	24.9	9,136	24.9	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,907百万円 24年3月期 7,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成25年3月期の配当予想につきましては、現時点において未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	34,000	△4.4	1,500	8.7	1,500	0.4	700	7.0	20	04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	35,020,000株	24年3月期	35,020,000株
25年3月期2Q	83,246株	24年3月期	81,525株
25年3月期2Q	34,937,110株	24年3月期2Q	34,939,072株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12
(7) 重要な後発事象 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により緩やかな回復傾向にありますが、デフレや欧州の債務危機が長期化するなか、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は160億25百万円と前年同四半期に比べ2億40百万円(1.5%)の増収、営業利益は5億69百万円と前年同四半期に比べ2億20百万円(63.0%)の増益、経常利益は6億59百万円と前年同四半期に比べ2億53百万円(62.5%)の増益、四半期純利益は3億90百万円と前年同四半期に比べ2億22百万円(132.0%)の増益となりました。

なお、特別利益に補助金収入865百万円、特別損失に減損損失802百万円を計上しております。

セグメント別業績の概要は次のとおりであります。

## ガス関連事業

ガス関連事業におきましては、酸素は電炉・石英加工向けが、窒素はエレクトロニクス・半導体向けが、水素は石英加工・エレクトロニクス向けの需要が減少いたしましたものの、溶解アセチレンは公共工事向けの需要が回復し、液化石油ガスは輸入LPG価格の上昇に伴う販売価格の値上げにより売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は95億3百万円と前年同四半期に比べ2億55百万円(2.8%)の増加、営業利益は多賀城工場の復旧等に伴い原価低減が図られたことにより7億68百万円と前年同四半期に比べ1億95百万円(34.1%)の増加となりました。

## 器具器材関連事業

器具器材関連事業におきましては、溶接材料は自動車生産向けに出荷が増加いたしましたものの、生活関連器具は震災の復旧需要が一段落したことにより売上高は減少いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は49億14百万円と前年同四半期に比べ79百万円(1.6%)減少いたしました、営業利益は89百万円と前年同四半期に比べ20百万円(29.7%)の増加となりました。

## その他事業

その他事業におきましては、自動車関連機器の設備投資需要が減少いたしましたものの、機械等の需要の増加により売上高は増加いたしました。

以上の結果、当部門の売上高は16億7百万円と前年同四半期に比べ65百万円(4.2%)増加、営業利益は98百万円と前年同四半期並みとなりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、282億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億70百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金が増加(11億93百万円)いたしましたものの、売上債権が減少(26億30百万円)及び固定資産が減少(7億5百万円)したことによるものであります。

負債は、187億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億円減少いたしました。この主な要因は、仕入債務が減少(20億83百万円)したことによるものであります。

純資産は、94億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億30百万円増加いたしました。この主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加(3億90百万円)したことによるものであります。

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、51億13百万円となり、前連結会計年度末より12億14百万円(31.1%)増加いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間に係る各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、24億23百万円となりました。税金等調整前四半期純利益の増加及び減損損失の計上により、前年同四半期に比べ18億16百万円(299.4%)増加しております。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、6億50百万円となりました。有形固定資産等の取得による増加により、前年同四半期に比べ66百万円(11.4%)増加しております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、5億58百万円となりました。長期借入れによる収入が減少したこと及び短期借入金の返済が減少したことにより、前年同四半期に比べ8億51百万円(60.4%)減少しております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,931,111	5,124,877
受取手形及び売掛金	11,106,631	8,476,094
商品及び製品	912,493	890,369
仕掛品	118,572	68,527
原材料及び貯蔵品	88,377	85,988
その他	506,772	526,134
貸倒引当金	△79,875	△52,347
流動資産合計	16,584,082	15,119,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,846,018	2,639,087
機械装置及び運搬具(純額)	1,694,688	1,697,363
土地	6,779,946	6,135,006
その他(純額)	653,894	809,208
有形固定資産合計	11,974,547	11,280,665
無形固定資産	257,711	299,549
投資その他の資産		
投資有価証券	940,012	867,108
その他	758,925	776,400
貸倒引当金	△87,153	△85,310
投資その他の資産合計	1,611,785	1,558,198
固定資産合計	13,844,044	13,138,413
資産合計	30,428,127	28,258,057
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,910,078	5,826,679
短期借入金	6,392,869	6,668,120
未払法人税等	249,053	300,581
賞与引当金	301,775	315,010
役員賞与引当金	23,770	13,545
その他	935,647	1,026,034
流動負債合計	15,813,194	14,149,970
固定負債		
長期借入金	3,421,446	2,691,960
退職給付引当金	1,235,094	1,239,956
役員退職慰労引当金	407,075	375,760
資産除去債務	4,975	5,021
負ののれん	21,567	11,353
その他	388,271	317,089
固定負債合計	5,478,430	4,641,141
負債合計	21,291,625	18,791,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	905,452	905,452
利益剰余金	4,330,638	4,721,590
自己株式	△8,320	△8,475
株主資本合計	7,488,770	7,879,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,443	28,214
その他の包括利益累計額合計	84,443	28,214
少数株主持分	1,563,288	1,559,162
純資産合計	9,136,502	9,466,944
負債純資産合計	30,428,127	28,258,057



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,784,473	16,025,286
売上原価	11,355,086	11,436,306
売上総利益	4,429,387	4,588,979
販売費及び一般管理費	4,079,793	4,019,235
営業利益	349,593	569,743
営業外収益		
受取利息	992	847
受取配当金	3,949	6,296
受取賃貸料	56,066	46,577
持分法による投資利益	36,180	45,705
負ののれん償却額	30,799	10,214
その他	46,385	64,013
営業外収益合計	174,374	173,654
営業外費用		
支払利息	101,550	70,288
手形売却損	2,862	1,220
賃貸費用	10,064	8,598
その他	3,791	4,159
営業外費用合計	118,269	84,267
経常利益	405,698	659,131
特別利益		
固定資産売却益	6,086	3,055
保険解約返戻金	5,305	—
受取保険金	3,000	—
災害損失戻入益	12,266	—
受取補填金	21,235	—
災害支援金	—	10,430
補助金収入	—	865,203
負ののれん発生益	8,158	22,929
特別利益合計	56,051	901,618
特別損失		
固定資産除売却損	8,573	6,639
減損損失	2,051	802,365
投資有価証券売却損	—	70
投資有価証券評価損	—	499
災害による損失	190,736	—
特別損失合計	201,361	809,575
税金等調整前四半期純利益	260,389	751,174
法人税等	57,122	299,102
少数株主損益調整前四半期純利益	203,266	452,072
少数株主利益	34,737	61,121
四半期純利益	168,528	390,951

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	203,266	452,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,654	△77,389
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,088	850
その他の包括利益合計	28,565	△76,539
四半期包括利益	231,832	375,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,180	334,722
少数株主に係る四半期包括利益	44,652	40,810

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	260,389	751,174
減価償却費	460,620	509,382
減損損失	2,051	802,365
負ののれん償却額	△30,799	△10,214
負ののれん発生益	△8,158	△22,929
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,898	4,861
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△91,310	△31,314
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19,046	△29,370
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,334	13,234
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,100	△10,225
受取利息及び受取配当金	△4,942	△7,144
支払利息	101,550	70,288
持分法による投資損益 (△は益)	△36,180	△45,705
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	499
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	70
固定資産売却益	△6,086	△3,055
固定資産除売却損	8,573	6,639
災害支援金	—	△10,430
補助金収入	—	△865,203
災害による損失	190,736	—
売上債権の増減額 (△は増加)	117,804	2,630,536
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△60,292	74,558
仕入債務の増減額 (△は減少)	209,369	△2,083,398
その他	△150,749	127,323
小計	944,662	1,871,944
利息及び配当金の受取額	4,953	11,188
利息の支払額	△96,122	△67,650
補助金の受取額	—	865,203
法人税等の支払額	△246,690	△257,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	606,802	2,423,471

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△900	△300
定期預金の払戻による収入	12,674	20,900
有形固定資産の取得による支出	△580,685	△620,475
有形固定資産の売却による収入	8,794	17,785
無形固定資産の取得による支出	△12,889	△49,065
投資有価証券の取得による支出	△2,216	△4,514
投資有価証券の売却による収入	—	30
子会社株式の取得による支出	△5,550	△15,250
貸付けによる支出	△10,475	—
貸付金の回収による収入	7,847	9,069
その他	△351	△8,355
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△583,752</b>	<b>△650,175</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,161,927	982,000
短期借入金の返済による支出	△4,199,000	△697,746
長期借入れによる収入	2,701,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△967,926	△838,488
少数株主への配当金の支払額	△5,608	△9,321
リース債務の返済による支出	△84,412	△85,147
長期未払金の返済による支出	△16,484	△10,125
その他	—	△101
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,410,503</b>	<b>△558,929</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,387,453	1,214,366
現金及び現金同等物の期首残高	7,150,582	3,899,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,763,129	5,113,877

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,248,224	4,994,360	1,541,888	15,784,473	—	15,784,473
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,248,224	4,994,360	1,541,888	15,784,473	—	15,784,473
セグメント利益	573,483	69,260	97,184	739,928	△390,335	349,593

(注) 1 セグメント利益の調整額△390,335千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,503,881	4,914,361	1,607,043	16,025,286	—	16,025,286
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,503,881	4,914,361	1,607,043	16,025,286	—	16,025,286
セグメント利益	768,873	89,865	98,183	956,922	△387,179	569,743

(注) 1 セグメント利益の調整額△387,179千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

本社ビル売却に伴い、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を当第2四半期連結累計期間において802百万円を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。